

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

マーケットサマリー

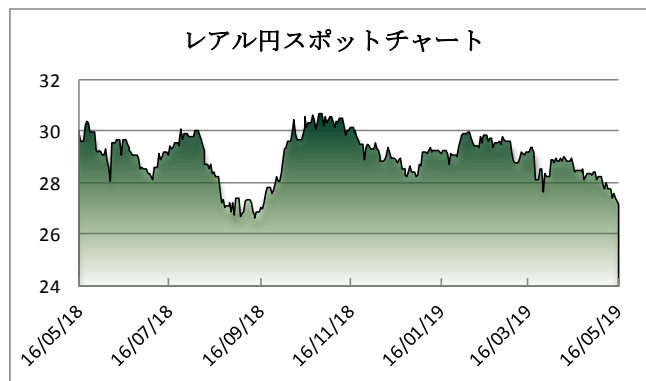
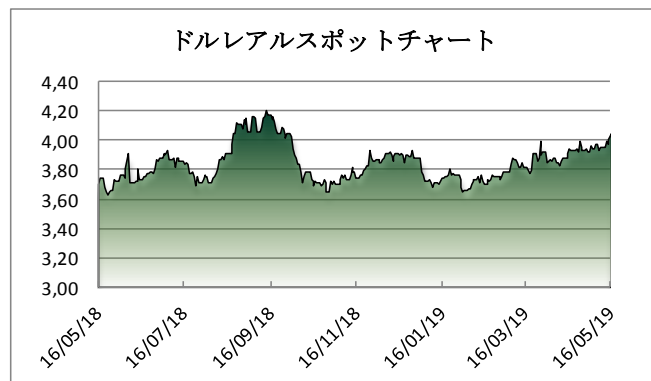
昨日のドルレアルスポット相場は、教育予算のカットに伴う抗議デモがブラジル全土250都市に拡大したことを背景に政治的リスクがブラジル国内で高まっており、レアルは再び年初来安値を更新。4.04台半ばで取引を終えた他、ボベスパ指数は早くも節目の9万ポイントを一時下割れ、まさに「ブラジル売り」の様相を強めている。米国ダラスを往訪しているBolsonaro大統領は、今回のデモに参加している人々を「馬鹿者」と表現するなど、事態の深刻化を自ら招いており、昨年の大統領選以降高まっていた改革への期待はほぼ剥落しているような状況。ブラジルマーケットの唯一の支えとなる年金改革法案も、予想通り議会での交渉が難航しており、仮に承認に向かって前進したとしても最終票決まで依然として時間を要することから、足許のブラジル売りを止めるだけの材料になるとは想定し辛い。ブラジル内外の状況はブラジルマーケットにとって極めて逆風と言えよう。

①政権発足100日時点の同大統領への支持率は歴代最低を記録しており、②期待されていたブラジル経済も、第1四半期はマイナス成長に陥る見通しである中、③Maia下院議長と同大統領の息子に不正疑惑が浮上し、かつ、④教育予算を巡るデモの拡大が政権の統治能力に疑問符を投げかけている。加えて、⑤米中貿易摩擦の拡大がグローバルにリスクセンチメントの悪化を招いており、新興国売りがレアル売りにさらに拍車を掛けるような展開。短期的に相場の抑制となり得るのが、ブラジル中銀によるスワップを通じた介入策と言えるが、Campos中銀総裁は昨日、議会の公聴会において、「変動相場制は適切に機能しており、特定の水準に相場を誘導することはない」と発言。現時点で新規のスワップ入札を行う気配はなく、様子見姿勢を貫いている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	5月15日	5月16日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	4,0017	4,0449	1,08%	3,59%	3,6374	4,0533
	対円	JPY	27,38	27,16	-0,80%	-5,34%	30,08	27,06
	対ユーロ	BRL	4,4832	4,5209	0,84%	2,66%	4,1646	4,5282
円	対ドル	JPY	109,60	109,85	0,23%	-1,92%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	122,76	122,75	-0,01%	-2,86%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	91.623	90.024	-1,75%	-4,57%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	176,60	181,41	2,72%	7,82%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	8,87	8,99	1,35%	0,21%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,40	6,43	0,55%	-0,54%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor		%	2,52513	2,51963	-0,22%	-3,12%	2,8039	2,5180
CRB Index (国際商品指数)		Index	180,66	182,32	0,92%	-2,65%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。